若狭湾サイクリングルート(仮称)推進協議会

設立総会

令和3年6月14日

〈内容〉

- 1 若狭湾サイクリングルート(仮称)推進協議会の設立について
- 2 役員の選任について
- 3 若狭湾サイクリングルート(仮称)の設定について
- 4 今後の事業計画
- 5 意見交換



Photo: Nobuhiko Tanabe

1 若狭湾サイクリングルート(仮称)推進協議会の設立について

1-1 自転車を活用した観光まちづくり

- ・訪日外国人の観光スタイルが買い物主体の「モノ消費」から、体験型観光の「コト消費」へとシフト
- ・国内外のサイクリストにとって快適なサイクリングを楽しめる地域づくりや、サイクルツーリズムのコンテンツ醸成を通じ、多くの観光客に訪問してもらい、経済および地域の活性化につなげる。
- ・公共交通の機能補完、回遊性の向上に寄与
- ○瀬戸内しまなみ海道(愛媛県)





提供:尾道市

日本で初めて海峡を横断できる自転車道で、多島美や橋梁の 造形美を楽しみながら、爽快な海上サイクリングを満喫する ことができる。 ○しまなみ海道におけるサイクリング客数の推計値 約17万人(平成24年度) → 約33万人(平成27年度)

約16万人増調査主体: 尾道市

○しまなみ海道(尾道市分)のレンタサイクル貸出台数 約4万台(平成25年度) → 約8万3千台(平成29年度) 約4万3千台増

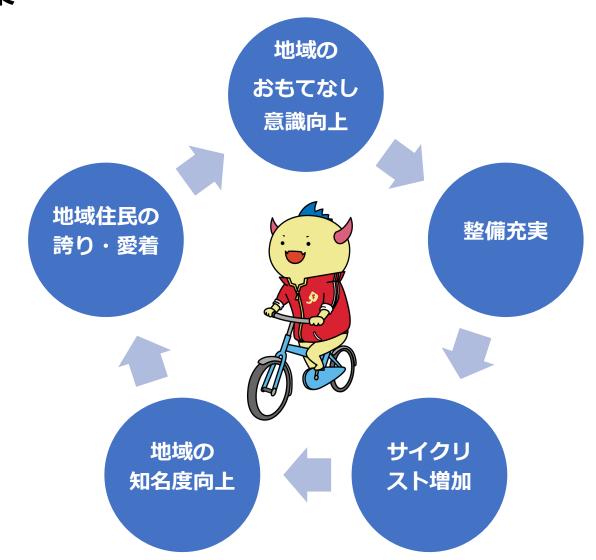
うち外国人利用分 約2千台(平成25年度) → 約1万台(平成29年度)

約8千台增

引用:広島県自転車活用推進計画

1-2 サイクルツーリズムがもたらす効果

- ・観光客の増加
- ・観光消費額の増加
- ・観光資源・魅力の発信
- ・観光客の時間的、空間的分散
- ・公共交通機関の補完
- → 嶺南地域が一体となり、 サイクリングを観光資源へ! サイクルツーリズムの推進により 地域振興を図る!



1-3 嶺南のサイクリング環境の現状

- ・サイクリングルートが存在 (敦賀サイクリングコース、三方五湖周遊ルート、小浜サイクリングコース、小浜大飯高浜自転車道)
- ・レンタサイクル、シェアサイクルの整備 (JR敦賀駅をはじめとした主要駅に設置)※エリアによっては乗り捨ても可能
- ・「自転車の駅」が53か所(空気入れや簡易工具の貸出、トイレ休憩が可能)
- ・矢羽根の整備 (国道162号付近(小浜市内)、三方五湖周遊ルートの一部)
- ・サイクリングイベントを開催 (若狭路センチュリーライド(2012年〜)、ラファ プレステージ若狭(2020年)、 ラファ キャラバン三方五湖(2021年))



1-4 サイクルツーリズムの推進

○ターゲット層

上級者



- ・長距離・スピード志向
- 経済効果は小さいが、サイクリングに関する情報に感度が高い。
- ・走り慣れた人が多いため、 走行環境に左右されない。

初中級者ファミリー層



- ・中距離~短距離
- ・食や観光を楽しむながら走る ため、経済効果が大きい。
- ・人口全体に占める割合が高い。

○推進にあたり3つの向上策

走行環境整備

路面表示・案内看板など

受入環境整備

サイクルスタンド・ 工具の貸出など

情報発信

ルートマップ作製・ ポータルサイト開設など

1-5 ナショナルサイクルルート(NCR)制度とは

優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携させたサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくもの

<一定の水準>

観点	指定要件
ルート設定	①サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること
走行環境	①誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
	②誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること
受入整備	①多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
	②いつでも休憩できる環境を備えていること
	③ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること
	④サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること
	⑤地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること
	⑥自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること
	⑦緊急時のサポートが得られる環境を備えていること
情報発信	①誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること
取組体制	①官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

<指定手続き>

候補ルートの選定



第三者委員会による審査



本部長による指定

<メリット>

- ①国や(独)国際観光振興機構 によるプロモーションを実施
- ②社会資本整備総合交付金等により、地域の取組に対して重点的に支援
- ③ナショナルサイクルルートと してブランド価値が向上

1-5 ナショナルサイクルルート(NCR)制度とは



○既指定(2019年11月)ルート ○新指定(2021年5月)ルート

提供:滋賀県

しまなみ海道サイクリングロード (愛媛県) 延長:70km



太平洋岸自転車道(千葉県~和 歌山県)延長:1,487km



提供:尾道市



トカプチ400(北海道)

延長: 403km



提供:北海道TOKACHIサイクル ツーリズムルート協議会

富山湾岸サイクリングコース(富山県)

延長: 102km



提供:富山県

つくば霞ヶ浦りんりんロード (茨城県) 延長:176km



提供:茨城県

1-6 若狭湾サイクリングルート推進協議会(案)について

○目的

嶺南地域におけるサイクリングルートの認知度向上および安全な環境整備、 ナショナルサイクルルート(NCR)の認定等を進めるにあたり、事業の全体の 方向性を決定するため、協議会を設立 ※構成員と規約は別添参照

協議会

- 国、県、市町、観光協会、商工団体等で構成
- 事業全体の方向性を決定

幹 事 会

- 構成団体の担当課長レベルで構成
- 事業の方向性や内容等を決定

ワーキンググループ

- 当面、走行環境、受入環境の2つを設置
- 担当者レベルの協議等により事業を推進
- 走行環境は土木部(道路保全課)、受入環境は観光誘客課、交通まちづくり課、 嶺南振興局が中心となり運営

2 役員の選任について

3 若狭湾サイクリングルート(仮称)の 設定について

若狭湾サイクリングルート(案)

- ○テーマ敦賀若狭の海湖を楽しむ!!
- ○ルート構成敦賀駅〜若狭高浜駅を結ぶ、三方五湖と若狭湾沿岸を中心としたルート
- ○通過市町 嶺南6市町
- ○総延長 約126km





若狭湾サイクリングルート(案)

(1) 敦賀市、美浜町、若狭町



若狭三方マリンパーク



福井県年縞博物館







人道の港 敦賀ムゼウム



氣比神宮



気比の松原



若狭湾サイクリングルート(案)

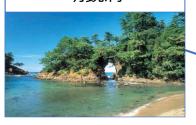
(2) 小浜市、おおい町、高浜町



若狭和田ビーチ

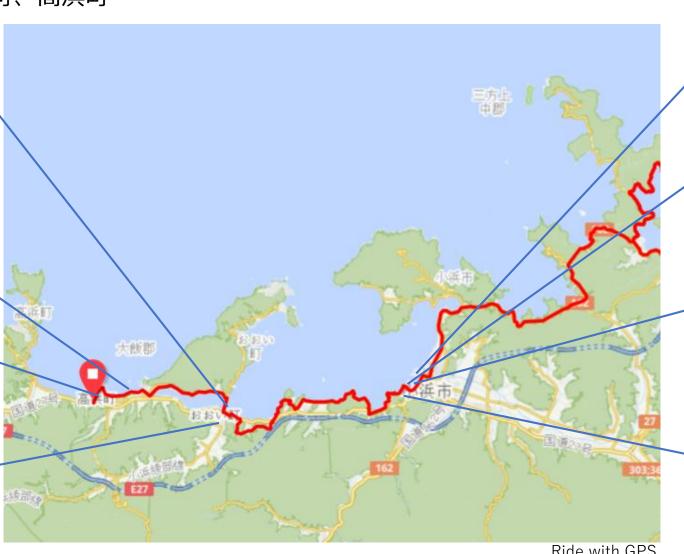


明鏡洞



あみーシャン大飯





若狭フィッシャーマンズワーフ



御食国和若狭おばま食文化館



蘇洞門巡り遊覧船



三丁町の街並み



Ride with GPS

ルート設定における現状・課題

ナショナルサイクルルート指定要件

サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること

魅力

→三方五湖、若狭湾を楽しみながら様々な観光地を巡ることができる。

安全

- →ナショナルサイクルルート指定を目指すなかで、ルートの安全性は最重要
- →交通量の多い幹線道路は、サイクリストと自動車の事故を引き起こす可能性が高い。
- → 危険なエリアの回避、道路の拡幅など、安全の確保が課題 (例: 国道27号など)

4 今後の事業計画

4 今後の事業計画

- ○走行環境整備
- ・矢羽根等の路面表示
- ・ルートロゴの作成
- ・案内看板の設置 など

- ○受入環境整備
- サイクルステーションの整備
- ゲートウェイの整備
- ・サイクルツアーガイドの養成
- ・サイクリングイベントの開催

○情報発信

- ・ルートマップの作成
- ・プロモーションの実施など

○整備スケジュール

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
走行環境	三方五	湖エリア整備(路面表示、	案内看板設置等)			
		ルートロゴ検討		嶺南全域へ拡大		
受入環境		サイクルステーション、敦	」 賀・美浜ゲートウェイ整備			
		イベントの開催	崔、レンタサイクル、宿泊旅	記等の整備、自転車の駅の	運営、他エリアでのゲート	ウェイ整備等
			サイクル	ツアーガイドの養成、ツア-	一の造成	
情報発信		ゴコイチマップ作製	広t	或ルートマップ作成、HP・	アプリの整備・運用	
		プロモーションの実施(PR動画の作成、展示会への出展等)				
取組体制	検討会の開催	官民連携の協議会設立		県・市町負担金による	運営、事業実施	

4 今後の事業計画

○令和3年度整備スケジュール

○走行環境整備

- ▶ 三方五湖周辺のルート整備
 - ・矢羽根等の路面表示
 - ・案内看板の設置
- > 整備計画作成
 - ・嶺南広域エリアにおけるサイクリングルートの路面表示等整備計画 および役割分担
- ▶ ルートロゴマークの作成
 - ・ロゴマークデザインの募集、審査





○受入環境整備

- ▶ ゲートウェイ整備
 - ・ゲートウェイ整備(R4~R5)につい て関係市町と協議
- サイクルステーションの整備
 - ・空気入れ、サイクルラック、自転車専用 工具の整備を支援
- ▶ サイクルツアーガイド養成
 - サイクルツアーガイドを育成するための 講座を開催
- サイクルステーションスタッフ向け 研修会
 - ・サイクルステーションのサービス水準の 管理やスタッフに対する研修の実施
- ▶ サイクルイベントの開催支援
 - ・住民参加または地元住民と協力して行う サイクリングイベントの開催を支援

※ゲートウェイ…レンタサイクル、必要物品(パーツ、携行食等)の販売、手荷物ロッカー、 着替えスペース、空気入れ・工具の貸し出し等の機能を備えた、サイクリ ングの出発点となる施設

○情報発信

- ▶ ゴコイチプロモーションの実施
 - ・ゴコイチ (三方五湖1周) のルートマップの作成
 - ・プロモーション動画の作成
 - ・大阪で開催するサイクリスト向けの展示 会への出展



5 意見交換

